

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年9月5日(2019.9.5)

【公開番号】特開2016-209579(P2016-209579A)

【公開日】平成28年12月15日(2016.12.15)

【年通号数】公開・登録公報2016-068

【出願番号】特願2016-92158(P2016-92158)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 6 A

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和1年7月29日(2019.7.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が流下可能に形成される遊技領域と、

その遊技領域を流下した遊技球の少なくとも一部の遊技球の通過を検出可能な検出手段と、

前記遊技領域と前記検出手段とを遊技球が流下可能に結ぶ連結流路と、

その連結流路において遊技球が流下する流路を切り替え可能に構成される切替手段と、を備え、

前記検出手段は、前記連結流路を流下する少なくとも一部の遊技球の通過を検出し、遊技球の通過を検出することに伴い遊技者に所定の利益を与えるものであって、少なくとも一つ備えられ、

前記切替手段は、所定期間の内に前記連結流路に流入する複数の遊技球の内、先に流入する遊技球である第1遊技球よりも、その後で流入する第2遊技球の方が、所定の前記検出手段を通過し易くする態様で前記連結流路を切り替え、

前記切替手段は、前記連結流路の前記所定の検出手手段の上流側に配置され、前記第1遊技球の前記所定の検出手手段への入球を規制可能な第1状態と、前記第2遊技球の前記所定の検出手手段への入球を許容可能な第2状態とで切り替え可能な排出規制手段を備え、

前記第1状態で入球を規制される前記所定の検出手手段と、前記第2状態で入球を許容される前記所定の検出手手段とは、同一の前記検出手手段であることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

基板ボックスを備えることを特徴とする請求項1記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

パチンコ機などの遊技機において、連結流路から検出手手段へ入球する割合を定期的に変更可能な遊技機がある（特許文献1）。

【手続補正3】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0003**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0003】****【特許文献1】**特開2001-70526号公報**【手続補正4】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0004**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0004】**

しかしながら、上述した従来の遊技機では、連結流路に流入する遊技球の注目力に関して、改良の余地があるという問題点があった。本発明は、上記例示した問題点などを解決するためになされたものであり、連結流路に流入する遊技球に対する注目力を良好にすることができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正5】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0005**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0005】**

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、遊技球が流下可能に形成される遊技領域と、その遊技領域を流下した遊技球の少なくとも一部の遊技球の通過を検出可能な検出手段と、前記遊技領域と前記検出手段とを遊技球が流下可能に結ぶ連結流路と、その連結流路において遊技球が流下する流路を切り替え可能に構成される切替手段と、を備え、前記検出手段は、前記連結流路を流下する少なくとも一部の遊技球の通過を検出し、遊技球の通過を検出することに伴い遊技者に所定の利益を与えるものであって、少なくとも一つ備えられ、前記切替手段は、所定期間の内に前記連結流路に流入する複数の遊技球の内、先に流入する遊技球である第1遊技球よりも、その後で流入する第2遊技球の方が、所定の前記検出手段を通過し易くする態様で前記連結流路を切り替え、前記切替手段は、前記連結流路の前記所定の検出手段の上流側に配置され、前記第1遊技球の前記所定の検出手段への入球を規制可能な第1状態と、前記第2遊技球の前記所定の検出手段への入球を許容可能な第2状態とで切り替え可能な排出規制手段を備え、前記第1状態で入球を規制される前記所定の検出手段と、前記第2状態で入球を許容される前記所定の検出手段とは、同一の前記検出手段である。

【手続補正6】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0006**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0006】**

請求項2記載の遊技機は、請求項1記載の遊技機において、基板ボックスを備える。

【手続補正7】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0007**【補正方法】**削除**【補正の内容】****【手続補正8】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項1記載の遊技機によれば、連結流路に流入する遊技球に対する注目力を良好にすることができる。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項2記載の遊技機によれば、請求項1記載の遊技機の奏する効果に加え、基板ボックスに基板を収容することができる。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0880

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0880】

遊技機A1からA9,B1からB8,C1からC9,E1からE9,F1からF10のいずれかにおいて、前記遊技機はパチンコ遊技機とスロットマシンとを融合させたものであることを特徴とする遊技機F3。中でも、融合させた遊技機の基本構成としては、「複数の識別情報からなる識別情報列を動的表示した後に識別情報を確定表示する可変表示手段を備え、始動用操作手段(例えば操作レバー)の操作に起因して識別情報の変動が開始され、停止用操作手段(例えばストップボタン)の操作に起因して、或いは、所定時間経過することにより、識別情報の動的表示が停止され、その停止時の確定識別情報が特定識別情報であることを必要条件として、遊技者に有利な特別遊技状態を発生させる特別遊技状態発生手段とを備え、遊技媒体として球を使用すると共に、前記識別情報の動的表示の開始に際しては所定数の球を必要とし、特別遊技状態の発生に際しては多くの球が払い出されるように構成されている遊技機」となる。

<その他>

パチンコ機などの遊技機において、誘導路に遊技球を貯留可能な遊技機がある(例えば、特許文献1:特開2014-176547号公報)。

しかしながら、上述した従来の遊技機では、貯留された球の排出の態様について改良の余地があるという問題点があった。本技術的思想は、上記例示した問題点などを解決するためになされたものであり、誘導路に貯留された球を良好に排出することのできる遊技機を提供することを目的とする。

<手段>

この目的を達成するために技術的思考1の遊技機は、遊技球が流下可能に形成される遊技領域と、その遊技領域を流下した遊技球の少なくとも一部の遊技球の通過を検出可能な検出手段と、前記遊技領域と前記検出手段とを遊技球が流下可能に結ぶ連結流路と、その連結流路において遊技球が流下する流路を切り替え可能に構成される切替手段と、を備え、前記連結流路の内部を、遊技球が流下することを規制する第1状態と、遊技球が流下す

ることを許容する第2状態とで状態変化させる2個の可動部材と、その可動部材を駆動する駆動手段と、を備え、前記検出手段は、前記連結流路を流下する少なくとも一部の遊技球の通過を検出すると共に、遊技球の通過を検出することに伴い遊技者に所定の利益を与えるものであって、少なくとも一つ備えられ、前記2個の可動部材は、間に少なくとも1個の遊技球を収容可能な間隔で配設される。

技術的思想2の遊技機は、技術的思想1記載の遊技機において、前記2個の可動部材は、第1可動部材と、その第1可動部材に比較して前記連結流路の下流側に配置される第2可動部材と、を備え、その第2可動部材は、前記第2状態において前記第1可動部材を通過した遊技球が、少なくとも前記第2可動部材に到達する時に前記第1状態を形成可能に駆動される。

技術的思想3の遊技機は、技術的思想2記載の遊技機において、前記連結流路に入球する遊技球が、前記第1可動部材に流下を規制されるか、又は前記第2可動部材に流下を規制された後に、それぞれ規定される所定の上限個数を越えて入球した場合に遊技球が通過可能に形成される上限通過手段を備える。

<効果>

技術的思想1記載の遊技機によれば、連結流路に貯留された球を良好に排出することができる。

技術的思想2記載の遊技機によれば、技術的思想1記載の遊技機の奏する効果に加え、第1可動部材と第2可動部材との駆動態様により、連結流路に貯留された球を良好に排出することができる。

技術的思想3記載の遊技機によれば、技術的思想2記載の遊技機の奏する効果に加え、連結流路に貯留された球の一部が上限通過手段を通過可能とすることにより、連結流路に貯留された球を良好に排出することができる。